

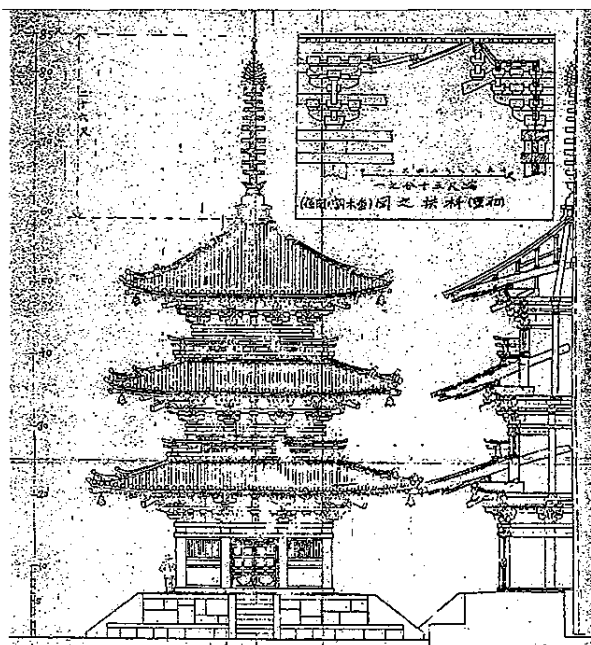


# 三重塔修復整備工事進む 酷暑の岐阜公園で見学会

平成26年10月から平成29年3月を期間として、岐阜公園にある三重塔の修復整備工事が行われています。7月31日に解体中の現場見学会が開催されました。無所属クラブから服部議員と松原のりかずが見学させて頂きました。

塔の建築年は大正6年。考案者・伊藤忠太、場所選定・川合玉堂、特徴は懸垂式芯柱工法で、長良橋の古材転用（当時）との説明です。

登録有形文化財で、柱、梁を残して解体、調査、極力再利用し組建て直すとのこと。酷暑中での作業は大変のようでした。また、今夏が足場を組んで初の台風シーズン。心配は尽きないようです。風雪の跡、雨漏りの跡（新築ではありません）など説明を受けました。



伊藤忠太考案図

## 公営企業審議会で下水道料金審議中

今年になって2回目の公企審（7月30日）が開かれました。テーマは下水道料金の引き上げです。今回の審議会は公募委員が今まで以上に熱心な委員がお集まりのようです。1回目の質疑では、3年間は引き上げを延期できるのではないかと熱心に質問をされて見えました。2回目は、残念ながら、その委員は欠席。また、空席、欠席も目立ち、ご都合の悪い委員も多く見受けられます。

30日、松原のりかずは、下水道料金引き上げの背景に、北部プラントのハイカラレンガ事業や、リン事業など、レンガの売れ残り、リン事業の赤字（プラント改修費の増大）など本来企業のやってはいけない「政策の失敗」について、報告文に記載無いと指摘。今後も各プラントの設備投資に資金が要るが、「政策の失敗」なければ、本来必要にならなかった費用も含まれていると、指摘しました。

連絡先 岐阜市議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

## 失言と本音

アベ首相の補佐官が「法的安定性などどうでも良い・・・」と発言。安保法案審議に関して批判が出ています。東大法学部卒の国会議員が法律に詳しくないはずも無く、全てを承知の上での発言と思われ、「本音」を話ただけ？ 「正直に本音を話した事」が今は「失言」と扱われている？ テレビでは「あの人はTPOが判らない」と批判がされていました。話して「良い場所」と「悪い場所」もあるのか？（赤ら顔では・・・）

人間は正直でなければ、と思うが「政治家は正直ではいけない」のか？ 「正直であってはいけない政治家」もいるのか？ この方のおかげで、「法案の本音」が国民に判りやすくなったことは事実のようです。「理解十分で無い（首相）まま採決された衆院」から参院へ、ますます国民の理解は深まるのでは・・・。